



## シンポジウム開催案内 計測・制御・システム工学部会

# 製鉄所におけるマルチメディアを考える

音声・画像を利用した設備監視，移動体通信を利用した物流把握，計測制御におけるマルチメディア技術の利用等，製鉄所におけるマルチメディア技術の活用の可能性を考えるべく講演と討論を企画しました。奮ってご参加下さい。

1. 共催：日本鉄鋼協会生産技術部門制御技術部会，日本鉄鋼協会中国四国支部
2. 協賛：計測自動制御学会，システム制御情報学会
3. 日時：平成7年10月10日（火） 14：00～17：00
4. 場所：広島市平和公園内 国際会議場 TEL(082)242-7777
5. 講演および討論：
  1. 「広域監視における人間・機械系一天井走行ロボットによる屋内監視」……セコム(株) インフォメーションシステム研究所 甘利康文
  2. 「製鉄所におけるマルチメディア技術の利用」……(株)東芝 重電技術研究所 塩原康壽
  3. 「デジタル映像メディア」……京都大学大学院電子通信工学専攻 松山隆司
  4. 総合討論「製鉄所におけるマルチメディアを考える」……討論者 鉄鋼代表およびメーカー代表
6. 定員：約 100名
7. 参加費（テキスト代含む）：会員（共催，協賛団体の方を含む） 1,000円 非会員 3,000円
8. 参加申込：事前にFAXで氏名，会員番号，勤務先，所属，電話・FAX番号を明記の上，下記事務局にお申し込みください。  
（参加費は当日受付でお支払い下さい。）
9. 申込先：〒100 東京都千代田区大手町1-9-4 経団連会館3階  
（社）日本鉄鋼協会 学会部門事務局学術企画グループ 藤原裕美子 TEL (03)3279-6022(代) FAX (03)3245-1355

## サイエンス・ボランティア募集について

文部省では平成7年度からサイエンス・ボランティア制度を実施することとなり，「サイエンス・ボランティア登録名簿の作成および提供」業務を社団法人日本工学会に委託してまいりました。この制度は，青少年や社会人に科学技術について正しい知識と理解を深めて貰うために設けたものです。

日本には自然科学に関する博物館が約260あります。しかし，来館者に説明し，かつ正しい知識と理解を与える学芸員は，1館あたり0.3名しかおりません。また，都道府県の教育委員会等が主催する各種のイベントでも，科学技術に関する正しい表現等に欠けるものも見受けられます。

そこで，文部省では，教育機関（大学・高専・高校等）で長く青少年教育に携わった方，企業等で専門家として活躍された方，特殊な技術をもっている方々のご協力を得て，全国的にサイエンス・ボランティア活動を本年度から実施することにしました。この制度は人材派遣ではなく，サイエンス・ボランティアを必要とする機関に情報を提供する事業です。

それに従って，日本工学会では下記要綱でサイエンス・ボランティアを公募いたします。

1. 応募の期日：いつでも受付ます。ただし，本年度は初めてですので，一応の期限を平成7年10月末日とします。
2. 応募資格：特にありませんが，ボランティアとして青少年・社会人に科学技術の面白さを，教えたり，一緒に楽しめる方。
3. 応募申込み：ハガキに氏名・年齢・性別・連絡先住所・同電話番号を明記して，日本工学会まで登録用紙を請求して下さい。
4. 資格審査：日本工学会内に設けた「サイエンス・ボランティア企画委員会」において資格審査を行い結果をお知らせします。
5. 登録用紙請求先および問合せ先：
 

〒107 東京都港区赤坂9-6-41 乃木坂ビル  
（社）日本工学会「サイエンス・ボランティア」係  
TEL (03)3475-4621 FAX (03)3403-1738